

鷹取山（たかとりやま）で きのこのまなびました

九月二日（土）、鷹取山国有林（四万十森林管理署管内）において「きのこ観察ツアー」を開催し、二名の応募者とともに実施しました。

講師は、今回も、局の森林の達人に登録されています。荒尾正剛さんにお願ひしました。

今年は、残暑が厳しく「例年の種類は見つからないのでは」と心配しましたが、午後からの同定では、昨年並みの約40種類弱のきのこを観察することができました。

また、往復のバスの中では、国有林の業務や森林のはたらき等について、参加者と話し合いながら交流も深めました。

なお、「きのこ観察ツアー」の様子は、高知県内ですが、テレビ高知「e.o.o応援団」(10月七日(日)午前二時〜)放映される予定です。



林内で説明の様子



同定の様子

24 技術開発の紹介



四万十森林管理署
森林ふれあい係長
森下 嘉晴 さん

森下さんの出身は高知県。23年4月、ふれあい係長に。森下さんといえば知る人ぞ知る往年のマラソンランナー。

中でもギリシャの過酷なスパルタスロン・246kmを完走し、一躍名を馳せたことは語り継がれている。また、平成21年には森林インストラクター試験に合格。さらに近年は、自然を題材にした絵画も県展に入選するなど素晴らしい感性も。加えて、国有林等の手書きの「散策マップ」は内外で好評。森下さんは、自然への造詣も深く、職場の同僚からの信頼も厚く人望のある性格に国有林内外からの期待も大。

編集後記

「四国山の日inこうち」が10月13日(土)午後13時30分から局大会議室で開催されます。梅原 真さんの基調講演等も予定されています。是非、立ち寄ってみてください。

囲いわなによる効率的なシカ捕獲試験

目的 ① シカの誘引に最も効果的な時季について解明

② シカの捕獲に最も効果的な場所について解明

③ 「小型で簡易な囲いわな」の改良、低コスト化

試験地 四万十署・嶺北署・高知中部署・安芸署(誘引試験)

試験内容 ① シカの誘引状況の季節変動について調査。② 季節や場所

の違ひによって生じる捕獲数等について比較調査

③ わなの改良(低コスト化やトラップ部の改良)

開発期間 平成二四年度〜平成二五年度

詳細は 局HP 森林管理局の概要

局HP 森林技術センターを参照。

(写真は、五月上旬、嶺北署管内の

囲いわなに三頭入っている様子)

